

△校訓唱歌（幸新作校長先生作詩）
（大正四年五月制定）

- 一、世界に輝く日本の 前途遠く貴重し
進取勇敢躋るまで 一步も後れは取るまじぞ
- 二、日々なすことは萬般に 善を愛して紀律よく
質素勤儉旨として 怠慢華美を敵とせん
- 三、言語は心の鑑なり かざりいつはりなまりなく
義を見て勇と奮発し 忠実盡さん公共に
- 四、此後御国の盛衰は 皆我々の腕にあり
いでや誠実碎勵し 必ず對えん御勅語に

△当時の修身科の内容について一年生と六年生の題目をあげてみると、

- 一年修身科題目
 - ヨク遊ビヨク学ベ
 - 勉強セヨ
 - カラダヲ大切ニセヨ
 - 忠 義
 - 行儀ヨクセヨ
 - ウソライフナ
 - ヨイ子供
- 六年生修身科題目
 - 皇大神宮
 - 忠君愛国
 - 祖先崇拜
 - 自立自営
 - 規律正シクアレ
 - 公 益
 - 産業ニ工夫ヲコラセ
 - 勤 勉
 - 迷信ヲサケヨ
 - 衛 生
 - 国民ノ公務

△学校基本林の巡視

学校基本林の位置状況を実地に見学させ、愛林思想、特に本村の林業計画の必要性を自覚させるため、各学年毎に、卒業期まで村内各地にある基本林全部を見学させている。（各学年別配当は次のとおり）

- 尋一 黒松
- 尋二 山内
- 尋三 高津原
- 尋四 長畑
- 尋五 柴北
- 尋六 栗ヶ畑
- 高等科 新植地

▼大正5年頃（清松重勝先生もいます）



▼同時代使用の修身書

